

平成29年

第6回 浜頓別町農業委員会総会議事録

招 集 年 月 日	平成29年 9月29日		午前10時00分			
招 集 の 場 所	浜頓別町役場 2階 大会議室					
開催日時 及び、宣言	開 会	平成29年 9月29日	午前10時00分			
	閉 会	平成29年 9月29日	午前12時25分			
出席委員及び、 欠席委員 出席 7名 欠席 1名 ○：出席 △：欠席 ×：不応召 △公：公務欠席	1	只野 國男	○	9	池田 邦雄	○
	2	庄司 まほら	○	10	小川 文夫	○
	3	櫻庭 正昭	△			
	4	丹羽 隆則	○			
	5	横山 豊広	○			
	6	生田目 美由紀	○			
	7	園原 清秋	○			
	8	永原 耕平	○			
議事録署名委員	4	丹羽 隆則	5	横山 豊広		
公務のために総会 に出席した者の名	事務局長	相野山 正成	事務局 次長	—		
	主 事	本田 基朗	主 事	—		
浜頓別町農業委員 会会議規則第9条 により説明のため 出席した者の名前	職 種	氏 名	職 種	氏 名		
議 事 日 程						
	報告第1号	諸報告について				
	議案第1号	現況証明願いについて				

平成29年第6回浜頓別町農業委員会総会

会長 日程1 それではご苦労さまでございます。只今から第6回浜頓別町農業委員会総会を開催致します。只今出席している委員は8名でございます。定足数に達しておりますので総会を開きます。

日程2 会議録署名委員の指名を行います。本日の総会の会議録署名委員は4番委員と5番委員にお願い致します。

日程3 会期の決定を議題といたします。本日の総会の会期は本日1日としたいと思いますが、異議ございませんか。

各委員 異議なし。

会長 異議ないということで、本日1日と致したいと思います。

日程4 報告第1号 諸報告について事務局より順次お願い致します。

事務局長 報告第1号「諸報告について」1ページを参照下さい。

7月31日に新しい体制になりました農業委員の辞令交付式並びに第5回農業委員会総会を開催しております。

8月7日には宗谷地方農業委員会連合会臨時総会が稚内市で開催され、役員改選が行われました。指名推薦により会長が稚内市の金村氏、副会長に猿払村の円丁氏、監事に枝幸町の高橋氏と浜頓別町の小川会長が選出されました。

8月19日から21日まで、担い手育成センターとゆめ酪農育てる会の共催で、浜頓別町内において、「はまとんべつ酪農体験ツアー」が開催されております。

8月23日には札幌市において、「平成29年度市町村農業委員会事務局長研修会」が開催され、私、相野山が参加しております。

8月29日には農業担い手育成センター担当者会議が役場 E 会議室で開催しております。

9月9日には東京都において「北海道新規就農フェア東京開催」が行われ、ゆめ酪より小川会長と農協の堀宮農相談係長、担い手育成センターより私3名で参加してきております。

9月14日には札幌市において「農地台帳システムフェーズ2操作研修

会」が開催され、本田主事が参加してきております。

以上、報告第1号とさせていただきます。

会長 はい。ただいま、報告第1号について終わりましたが、担当から具体的に報告をお願いします。

事務局長 「はまとんべつ酪農体験ツアー」について報告させていただきます。
初めての取組みとして、8月19日から21日まで、担い手育成センターとゆめ酪農育てる会の共催で開催しました。

5月下旬にオール宗谷の取組みとして、道内の農業系大学に出向いて開催された「宗谷酪農セミナー」に参加して、この体験ツアーのPRをしたところ、帯広畜産大学などの学生ら15名に参加頂きました。

町内7戸の農家さんにファームステイし、朝晩の酪農体験をしながら、参加者は殆どが本州出身者で浜頓別町に訪れるのは初めてであるため、砂金掘りやクッチャロ湖でのカヌー体験など、町の観光や文化にも触れて頂きました。

受け入れして頂いた農家さんからは、「色々経験しながらも酪農を一つの職業として選択してほしい」との激励の言葉も頂き、主催者側としては、酪農体験だけでなく、町の人々の優しさや食のおいしさ、景色の素晴らしさを感じてもらい、この体験を通して、参加した学生達から浜頓別の魅力を様々な場面で発信してほしいと呼び掛けしました。

つぎに、「平成29年度市町村農業委員会事務局長研修会」

8月23日に札幌市の自治労会館において開催され、「農業と農業委員会に関係する最近の情勢」や「関係法令に基づく農業委員会業務」等について共通理解を深めるため、農業委員会業務全般のおさらい研修を受けました。

つづいて、「北海道新規就農フェア東京開催」です。

9月9日に北海道農業公社（道担い手育成センター）主催による北海道新規就農フェアが東京駅のすぐそばのパソナグループ本部ビルで開催され、道内より34市町の出展があり、それぞれブースを構えて、来場者の相談対応をしました。

来場者数が61名ということで、会場は東京駅のすぐそばの一等地のビルで、パソナグループと北海道農政部が連携協定を締結している関係で、借りることが出来たようですが、ビルの12階の奥の大会議室のようなスペースで、来場者も分かりづらいと言っていました。その61名の内、浜頓別町のブースには10名の相談者に来て頂き、対応致しまし

た。

農業公社ではインターネット等で周知したようでしたが、その周知方法についての確であったかは、今後の総括で検討していく必要があると考えております。私からは以上です。

会長 それでは7番についてお願いします。

本田 農地台帳システム操作研修会に参加いたしました。担当員からはフェーズ2を運用する際の注意点として、データ入力完了後の案件については訂正、修正ができない、住民基本台帳及び固定資産課税台帳との突合を行うことができるが、住基・固定突合アプリの運用については様々な不具合が散見されており、一時凍結中であるとの説明を受けました。私からは以上です。

会長 ご質問、ご意見ございませんか。特に無いようでしたら、以上で諸報告について終わりたいと思います。続きまして、日程5議案第1号現況証明願いについてを議題と致したいと思います。事務局の方より、議案の説明をお願いします。

事務局長 2頁をご覧ください。

議案第1号「現況証明願いについて」、次のとおり、現況証明願いがあったので審議を求める。平成29年9月29日提出、浜頓別町農業委員会 会長 小川文夫。

番号「1」、所在「字共和」、地番「3640番の42」、地目「公募畑」、面積「2,987.64㎡の内1,460.44㎡」の1筆です。利用状況「未利用」、申請理由「地目変更のため」、所有者「〇〇」、願人「〇〇」です。

番号「2」、所在「字ブタウス」、地番「116番の11」、地目「公簿牧場」、面積「107㎡」、外2筆で合計3筆、面積合計「21,013㎡」、利用状況「未利用」、申請理由「地目変更のため」、所有者「〇〇」、願人「〇〇」です。以上、議案第1号につきまして、提案内容をご説明申し上げましたので、よろしくご審議下さいますようお願い申し上げます。

会長

はい。ただいま、議案第1号現地目証明願いについての提案について説明がありました。この現地目証明願いと言うのは、農業委員会総会の度に出てくることが予想されます。というのもですね、これは公簿が畑、採草放牧地とある場合はですね、この地目の状態では人に売ったりだとか開発行為をすることができません。そこで農業委員会で、現況が何であるか判断しなければいけないというふうな事ですね、現地目証明願いが上がってくるというような議案でございます。そのためにはですね、事前にこの総会の農業委員の方々に調査をして、現況が何であるかということ判断しなくちゃならないんですけど、それを合理的に進めるためにですね、農地委員会で事前に三名以上の方々に調査をしていただいて、そしてこの総会で報告していただいて、それを採決して決めるというような流れになっていることをご理解いただきたいと思います。先般、農業委員会の方ですね現地調査をしております。その調査の結果をですね、農地副委員長の横山さんの方からしていただきますが、まず最初に2番の方だけ報告していただきたいと思います。番号1につきましては、生田目委員さんがおりますので、退席の関係がありますので、最初に2番の方から審議していきたいと思っております。よろしくお願ひします。

横山委員

本日、農地委員長が欠席ですので私の方から報告させていただきたいと思ひます。9月20日に、池田職務代理者と櫻庭農地委員長、園原農地委員、本田事務局と私の5名で現地の方まで現況確認をしてまいりました。現況については、農地、採草放牧地以外ということで確認をしてきました。以上、報告でございます。

会長

只今、1番の只野委員が出席してきました。出席している委員は9名であります。それでは、議案第1号の現地目証明願いの2番について、横山農地副委員長から報告がありました。この件について、何か質問等ございませんか。畑、採草放牧地以外と判断してきたということでございます。

各委員

なし。

会長

それでは、無いようですのでこの案件につきまして畑、採草放牧地以外ということで決定しても良いという方、挙手をお願いします。

各委員

(挙手)

会長 はい、ありがとうございます。2番については畑、採草放牧地以外ということで決定したいと思います。続きまして、番号1でございますが、農業委員会法第30条に基づき、生田目委員の退席をお願いしたいと思います。親族がということで、廊下の方へ退席をお願いします。それでは、引き続きましてですね、番号1について横山農地副委員長の方からお願いします。

横山委員 番号1の案件についてご説明をさせていただきたいと思います。9月20日に、池田職務代理者と櫻庭農地委員長、園原農地委員、本田事務局と私の5名で現地の方まで現況確認をしてまいりました。結果については、畑、採草放牧地以外ということで確認をしてきました。以上でございます。

会長 ただいま、農地副委員長の説明に対して何かご意見、ご質問ございませんか。特に無いようですので、番号1につきまして畑、採草放牧地以外ということで賛成の皆さんの挙手をお願いします。

各委員 (挙手)

会長 はい、ありがとうございます。それでは、この案件につきまして畑、採草放牧地以外ということで決定したいと思います。

会長 はい、議案は1件だけでございます。続きまして、その他についてですが農地パトロールの部分については後でやりますので、そのほかの部分について事務局からお願いします。

事務局長 議事日程には記載しておりませんが「農業者等との意見交換会の実施について」開催の方向性について説明したいと思います。

 全国の農業委員会系統組織では、平成23年度から「地域の農地と担い手を守り活かす運動」の一環として、幅広い農業者を対象に関係者も交えた意見交換会の開催を推進しております。

 昨年に引き続き、今年も実施していきたいと思っております。期日は11月上旬を予定しており、参集範囲は農業者に加え、行政、農協関係者、その他の関係機関など幅広く参加を呼び掛けたいと思っております。

 テーマは直面している課題を自由に設定することとして、現場において関係者がどのように考えているのかについて意見交換していきたいと思っております。

ここで出された意見を取りまとめ、農委法で定める「関係行政機関等に改善についての具体的な意見を提出する」ため、事前に農業振興委員会で協議頂いてから、11月末の総会でご審議し、12月には町に提出したいと考えております。

また、北海道農業会議に報告し意見を集約して、道に提出。北海道農業会議から全国農業会議所に報告し、国の農業政策・予算への反映・具体化をしていく流れとなっております。

期日が近くなりましたらご案内したいと思っております。以上でございます。

会長 この件につきましては、園原委員長が中心となって関係することを決めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。それでは次の部分申し上げます。

事務局長 その他「平成29年度地区別農業委員等研修会」の参加についてです。ご案内しております期日が11月1日金曜日豊富町で開催されます。内容は以下のとおりなのですが、研修会終わった後に交流会も予定されております。交流会費6,000円は実費負担となりますが、ただ宿泊のあっせんということで浜頓別町では公費で旅費規定に基づきまして、宿泊料のみを支給しておりますので、泊まれなくても交流会に出られなくても、研修会だけの参加で日帰りで帰りたいとかいろいろなパターンがありますので、10月12日までにですね、FAXまたは電話等で事務局までご連絡いただきたいと思っておりますので、数名の方からはすでにご連絡いただいておりますので、残りの方のご参加の検討をお願いしたいと思います。以上でございます。

会長 はい、この件につきまして何かありませんか。これは送り迎えつきですか。役場前出発、発着になりますので、会場までは公用車で行くということになります。講演会は16時に終わって、だいたい1時間で戻って来られると。できるだけ皆さん大いに参加していただきたいと思っております。この件に関して、12日が締め切りとなっておりますので、よろしくお願ひしたいというふうに思います。

只野委員 これは宗谷管内ということですか。

会長 はい、管内全員の農業委員全員が集まるということですか。結構な数が集まりますね。講師は、北海道農業会議の職員が講師を務めるということですか。

会場は持ち回りです。浜頓でもやったことがあります。是非、参加してください。それでは、この案件につきましてよろしく一つお願いしたいと思います。はい、引き続いて研修会の説明をお願いします。

事務局長 平成29年度、三枚物の研修会のご説明をしたいと思います。すでに参加者決まっております、事務局含めて8名の参加となっております。日程については、10月19日から20日までの日程で、研修内容、研修先等の日程については、すでにご案内のとおりでございます。宿泊先については、研修先に近いということでポールスター札幌を予約しております。工程については、7時半に役場前出発しまして、途中の豊寒、下頓、宇曾丹方面の方は自宅までお迎えに行きたいと考えております。概ね、12時半に札幌着きまして昼食を取ってから、14時から15時半まで研修を行ないます。二日目は、9時半にチェックアウトをして、10時からの研修で11時半終了、昼食を取って概ね17時には浜頓別に着になる予定です。移動手段は公用になりますので、公用車のワゴン車と公用車一台で移動したいと思います。また、今回ですぬ町からの公費の出張旅費ということで支給されておりますが、こちらの方事務局で一括してお預かりさせていただきまして、宿泊料食事代等をこちらの方でお支払したいと考えております。旅費が一人当たり14,000円ということで、宿泊料や夕食、昼食までとなると若干足が出る場合もございますので、その時はその都度ご負担いただくような形になるかと思っておりますので、ご了承ください。以上でございます。

会長 この件につきまして、何かご質問等ありますか。一旦休憩します。

(休憩)

会長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開したいと思います。みなさんの方で、その他の部分で何かご質問ありませんか。はい、特に無いようですので農地パトロールの件につきまして、事務局の方から説明をお願いします。

事務局長 それでは、これから農地パトロールを実施しますが、この農地パトロールはですね、農地法第30条第1項の規定に基づき、毎年、年に一回、一定の時期を定めて地域の農地利用を総点検する取り組みであります。

前回の総会にて、各委員の皆様にご各地区で遊休農地がないか調査をお願いしたところ、園原委員より共和地区の農地について、有効に使用されているとの報告を受けております。

これから、栄和地区と国営再編の箇所を中心的に見ていきたいと思います。パトロールから帰ってきたら、皆様からご意見等を頂きたいと思います。

会長 それではここで休憩にしたいと思います。

(休憩)

会長 それでは休憩前に引き続き会議を再開いたします。農地パトロール大変ご苦勞さまでございました。今回の農地パトロールはですね、特に東側を中心にパトロールしてですね、特に栄和地区の賃貸借の行われているところ、そして再編整備を行っているところを中心にしてまわって参りました。何か気が付いた事ございませんでしょうか。東側を中心にターゲットを絞って参ったということでご理解いただければと思います。実はですね、報告の方でこの事項なかったんですけども、9月20日にですね農業振興委員会が開かれております。その中でもですね、担い手と農地問題について話し合われておりますので今後の方針なんか含めてですね簡単にお願ひしたいと思います。

事務局長 新年度、4月に入りましてから、昨年農業委員会法が改正になりまして、農業委員の必須義務として農用地の最適化の推進が新たな業務に加わりました。今までの農業委員会の業務については、許認可事務というだけというような部分が多くてですね、今後はそのような事務が増えたということで農地を担い手に集積して、耕作放棄地を作らないことが課題になってくるということで、許認可事務だけにとらわれずに農業委員会としての日常の活動も活性化させて、当面の課題について議論して解決方法を見出していくことが大切ではないかということが確認されております。開催方法なんです、通常総会は奇数月、2ヵ月に一度開催されておりますが、それ以外の月にですねテーマを設定して農業振興委員会に委員として皆様参加していただく事になると思いますが、農業振興委員会を開催してですね、今回のテーマについては農用地の部分と担い手対策についてテーマを絞って協議して、その協議結果について各関係機関への提言としていきたいというふうに確認されております。今回のテーマについては、農用地のかかわりを持った担い手対策についてということで、先般、振興委員会と各委員の副部長、委員長集まっていたきまして協議を致しまして、常盤、栄和、戸出の賃貸している土地を中心に事務局側でですね図面にその状況を落としてですね、再度みなさまにお集まりいただいて最終的な調査結果を決議的な部分まで持っていききたいというふうに考えております。また、畜産センター等も今回賃貸しているという

ことで牧草が足りないということで、ここの部分も確認しながら議論を深めて行ければと考えております。予定がですね、10月の末、30日か31日ぐらいに振興委員会のほうを進めて行きたいと思っております。またその時にはご案内したいと思っております。以上でございます。

会長

はい。今回は、農地パトロール行ったわけですが、今後もですね今報告ありました様に、特に農用地等の最適化の推進ということが新たな任務になりましたので、農業振興委員会の中でもですね、随時、農用地と担い手対策ということで如何にして担い手に耕作放棄地を作らないために、担い手に農用地を集積するかということについては、随時検討していくというふうなことになっておりますのでご承知おき頂ければと思います。それでは、今回パトロールした件につきましては、良好に使われているというふうなことでよろしいですか。はい、今回の農地パトロールは大変ご苦労様でした。みなさん方のほうで、何か他に審議事項ございませんか。無いようでございますので以上を持ちまして平成29年度第6回浜頓別町農業委員会総会を終わりたいと思っております。大変、ご苦労様でした。ありがとうございました。